

## とくしま魅カスポット

徳島県内のキラッと光る商品や技術にスポットを当て、創造の現場から発信される声や笑顔、そして、こだわりの品々をレポートします。



阿波山川駅より徒歩15分ほどに位置する『阿波和紙伝統産業会館』

## 阿波和紙伝統産業会館

1300年の歴史を持つ阿波和紙の啓蒙と継承を目的に、今から約30年前に設立された『阿波和紙伝統産業会館』。昨秋には、阿波手漉き和紙の製造技法が県無形文化財に指定され、また、同館理事長の藤森洋一さんが阿波の名工に選ばれました。今回は、藤森さんに、阿波和紙伝統産業会館の取り組みについて伺いました。

◆和紙会館はどのような場所ですか？

和紙会館の中には、紙漉き職人が作業をしたり、一般の方が体験できるスペースや、様々な作品展示の展示室、また、阿波和紙などが購入できるミュージアムショップなどがあります。

また、4年ほど前に、近隣に『いんべアートスペース』というイベントスペースをつくり、音楽イベントや「ひな祭り展」などを毎年開催しています。

◆和紙会館が作られた目的は？

古くからこの地に伝わる阿波和紙の技術を使って、アーティストたちが作品を生み出せる場所になればという思いをもち続けて30年やってきました。

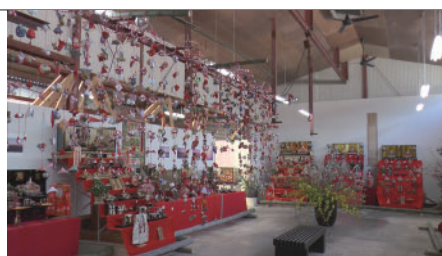
10年程前に、知り合いからミニプリントの展覧会をやらないかという話があり、そのことがきっかけで和紙会館の近隣に、『いんべアートスペース』を作りました。それが2013年のことでした。折角この和紙会館に国内外から様々なアーティストがやって

きて素敵な作品を生み出しても、地域の方々の目に触れることも、知られることもなかった。阿波和紙や和紙会館を知ってもらえなくても良い機会でした。しかしミニプリント展は2年に1回…。それでは2年の間はどうか？それでは2年の間はどうか？それでは2年の間はどうか？それでは2年の間はどうか？

職人たちが日々、阿波和紙を生産しています



紙漉き体験も随時受付中♪  
詳細はお問合せを。



いんべアートスペースで「よんかいめのひな祭り展」開催中！

◆今後の目標や予定を教えてください

今後も、国内外からのアーティストを受け入れ、様々な作品がここから生まれていったらなと思っています。そしてまた、地域とつながりをもつイベントなども開催していきたいらなとも思っています。

今年、2年に1回の開催である「ミニプリント展」の予定しています。また、3月12日までは、「よんかいめのひな祭り展」として、いんべアートスペース、阿波和紙伝統産業会館、吉野川市アメリテイセンターの各会場で、様々なひな祭りイベントを開催中です。気軽に和紙にも触れていただき、また、交流の場になればと思います。

## 阿波和紙伝統産業会館

徳島県吉野川市山川町川東141

tel.0883-42-6120

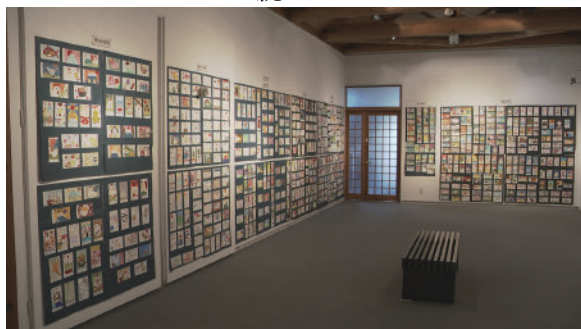
定休日/月曜日

\*祝日の場合は翌日

営業時間/9時~17時



徳島の魅力が詰まった阿波和紙のポストカードも販売中！



阿波和紙伝統産業会館 展示室